

デジタルスキル習得・開発の様々な手法

カテゴリー	手法の例	得意分野	不得意分野
教材・コンテンツによる教育・学習	書籍、動画配信、オンデマンド等	・短期的個別的な学習（個人の関心分野・ペースに合わせた学習） ・多種多様な選択肢 ・時間、場所の自由度 ・技術革新への迅速対応 ・パーソナライズ、カスタマイズ ・レベルに応じた段階的学習	・学習効果測定 ・モチベーション向上 ・インタラクティブ ・実務に近いスキル ・情報の非対称性・選択の難しさ
対人教育	集合研修 社会人大学等	・理解増進	・講師の質に依存 ・実務に近いスキル ・情報の非対称性・選択の難しさ
	コミュニティ・ラーニング、PBL等	・知識のアウトプットを通じた深い理解 ・他者からの新たな知見	・実務に近いスキル ・情報の非対称性・選択の難しさ
実務教育・経験	実地研修、プログラミングコンテスト等	・実務に近いスキル	・要求水準の高さ
試験・資格	情報処理技術者試験（国家試験）	・公的証明、信頼、規模・マスへの訴求 ・普遍的知識、長期・体系的学習基盤	・製品・サービスの活用技術
	民間試験・検定	・学習成果の評価、学習の動機付け ・レベルの共通認知 ・技術革新への迅速対応	・コミュニケーションスキル ・実学・実務 ・長期・体系的学習
学校教育	学校での授業	—	—